

2023年8月8日  
認定 NPO 法人 deleteC

みんなのアクションが、がん治療研究の応援に  
「deleteC 大作戦 2023」を9月2日(土)より開催  
～累計5万人が参加する「#deleteC 大作戦」がさらに進化  
「デリシー文化祭」@東京竹芝 開催や買い物、旅行が寄付につながる取り組みも新たに～



認定 NPO 法人 deleteC(デリート・シー/代表理事:小国士朗)は、みんなの力で、がんを治せる病気にすることをミッションに掲げ、2023年9月2日(土)～10月31日(火)をがん治療研究の応援の強化期間として、「deleteC 大作戦 2023」を開催します。

毎年9月のがん征圧月間に、SNS 投稿・拡散が、がん治療研究の寄付につながる「#deleteC 大作戦」を実施。2020年の取り組み開始以降、累計5万人の想いと寄付を集め、がん治療研究を後押ししてまいりました。現時点で、小児がん、子宮頸がん、胃がん、肺がん、乳がんなどの臨床専門医や基礎研究者、リサーチナースなど8名の医師・研究者に寄付(計3,000万円以上)と啓発で支援しています。

「deleteC 大作戦 2023」では、これまでの取り組みをさらに発展させ、「#deleteC 大作戦」開始日の9月2日に、カジュアルソーシャルアクション(CSA)体験型イベント「デリシー文化祭」を開催します。イベント参加をはじめ、買い物や投稿などのアクションすべてががん治療研究の応援につながり、会場には、deleteC が目指す世界観を体現する学生から企業関係者、アスリート、俳優、デザイナー、クリエイター、医師・研究者、がん経験者など、世代や立場を越えた方達が集結します。同日17時には、会場内でSNSの一斉投稿も行います。一斉投稿を皮切りに、SNS投稿と拡散が寄付につながる「#deleteC 大作戦」を9月30日まで実施します。さらに、10月には、売上の一部が寄付につながる商品やチケットなどの販売も開始するなど、ふだんの暮らしの中で、がん治療研究の応援ができる仕組みが広がります。

期間中にあつまった想いと寄付は、deleteC の医療公募・選考会を経た医師・研究者にお届けします。寄付先の発表は2024年2月4日に開催する「deleteC 2024 -HOPE-」を予定しています。

deleteC は、がんを治せる病気にする日を一日も早く手繰り寄せるため、誰もが参加できるカジュアルソーシャルアクション(CSA)を通じて、この取り組みを広く根付かせます。

【概要】

名称 : deleteC 大作戦 2023  
 実施期間 : 2023 年 9 月 2 日(土)~10 月 31 日(火)  
 特設サイト URL : <https://www.delete-c.com/post>  
 実施内容 :

日付	名称	内容
9/2	カジュアルソーシャルアクション(CSA)体験型イベント「デリシー文化祭」	会場内でのすべてのアクションが、がん治療研究の応援に
9/2~9/30	「#deleteC 大作戦」	SNS 投稿と拡散が、がん治療研究の応援に
10/1~10/31	「deleteC 寄付付き商品・チケット」	お買い物、音楽鑑賞、旅行が、がん治療研究の応援に



<9/2(土)14:00~18:00>

~カジュアルソーシャルアクションが、がん治療研究の応援に~

「デリシー文化祭」@東京竹芝 開催！

イベント参加をはじめ、買い物や投稿などの参加者のアクションすべてが、がん治療研究の応援につながる“カジュアルソーシャルアクション”体験型イベントです。カジュアルソーシャルアクション(以下、CSA)とは、「ふだんの暮らしの中で、自分にできることから始める軽やかなアクション」を指し、deleteC が大切にしている考え方です。デリシー文化祭では、高校生と大学生のチャレンジブース「デリシーカフェ」や、読書が応援につながる「デリシーブックセンター」がオープンするほか、deleteC 参加企業によるがん治療研究の寄付につながるコラボ商品等の販売も行います。また、想いを届ける「デリシーポスト」も設置し、参加者の応援メッセージを当日会場にて一部発表します。

舞台においては、参加者が取り組む CSA の紹介や、がん治療研究のいまを知る医療者によるセッション、「#deleteC 大作戦」開始に向けた大作戦会議を行います。同日 17 時には、参加者全員で一斉投稿も行います。

【概要】

実施日時 : 2023 年 9 月 2 日(土)14:00~18:00  
 場所 : 東京ポートシティ竹芝 ポートホール  
 住所 : 東京都港区海岸 1-7-1 東京ポートシティ竹芝 1 階  
 寄付につながる参加チケット : 大人 3,000 円、学生 2,000 円、子ども 500 円  
 購入方法 : チケット販売サイトより事前にご購入ください。  
 URL:<https://delete-c.stores.jp/> (8/15 10:00 一般販売開始)  
 受付方法 : 事前にご購入いただいた電子チケットを受付にてご提示下さい。  
 入場受付時に、会場内で使用出来る、「deleteC CSA Ticket」をお渡しさせていただきます。  
 ※企業・団体ブースでは使用できません。予めご了承ください。

<9/2(土)17:00~9/30(土)23:59>

~SNS 投稿と拡散が、がん治療研究の応援に~  
**「#deleteC 大作戦」実施！**

「#deleteC 大作戦」とは、deleteC が毎年 9 月のがん征圧月間に、参加企業の商品パッケージやロゴから、「Cancer(がん)」の頭文字でもある「C」を消した画像や動画を SNS へ投稿することにより 100 円が、がん治療研究への寄付につながるカジュアルソーシャルアクションです。参加企業の公式アカウントが発信する画像や動画に反応(いいね、動画再生、シェア、リツイート)すると、1 反応あたり 10 円が、がん治療研究へ寄付されます。

「あつまれ、想い」をスローガンに掲げ、2022 年 9 月 3 日から 9 月 30 日に実施した「#deleteC 大作戦 2022」においては、21 企業・団体が参加しました。開始日には、オンライン配信「deleteC 大作戦会議」を実施、配信後には、「がん治療研究」という言葉が Twitter のトレンドワードにランクインするなどタイムライン上に投稿が溢れました。投稿数 27,110 件・リアクション数 982,124 回、寄付総額 12,593,440 円(前年比 180%)が、がん治療研究への寄付・啓発費用として集まりました。

**【概要】**

実施日時 : 2023 年 9 月 2 日(土)17:00~9 月 30 日(土)23:59

※一斉投稿 9 月2日(土)17:00 開始

実施内容 : 対象企業・団体、商品、ハッシュタグ等の投稿ルールについては、8 月下旬に発表予定

<10/1(日)~10/31(火)>

~買い物、音楽鑑賞、旅行が、がん治療研究の応援に~  
**deleteC 寄付付き商品・チケット販売開始！**

売上の一部が、がん治療研究の寄付につながる商品やチケットを販売します。タオルや入浴剤、ワインや旅行など、ふだんの暮らしの中でがん治療研究を応援できる仕組みが広がります。

**【概要】**

実施日時 : 10 月 1 日(日)~10 月 31 日(火)

販売内容 : 対象商品・チケットについては、9 月に発表予定です。

**deleteC について**

deleteC は、個人、企業、組織などの立場を越え、がんを治せる病気にしたい、という想いを自由に意思表示することで、誰もががん治療研究を応援できる仕組みをつくり、がん治療研究への寄付と啓発を通じて、1 日でも早く「がんを治せる病気にする日」を手繰り寄せることに貢献します。

具体的には、プロジェクトに参加する企業・団体・自治体・個人が自身のブランドロゴや商品、またはサービス名から Cancer の頭文字である「C」の文字を消したり、deleteC のロゴやコンセプトカラーを使うなどしたオリジナル商品・サービスを制作・販売・提供します。購入金額の一部は deleteC を通じて、医師・研究者が推進するがん治療研究に寄付(※)されます。

毎年 9 月には「#deleteC 大作戦」と題し、SNS 投稿・拡散が寄付に繋がる啓発の取り組みを実施し、毎年 1 月末にワールドキャンサーデーに先駆けて開催する「deleteC -HOPE-」にて、がん治療研究を推し進める医師・研究者に寄付をお渡しします。寄付先となるがん治療研究については、公募を実施し、がん臨床試験の専門的知見を有する医師のほか、プロジェクト参加企業、deleteC 医療リサーチチームといった多様な視点を持つメンバーで選考委員会を構成し、公正なる審査のもと、寄付先を決定します。選出したテーマの動画コンテンツなどを制作・発表し、deleteC がさまざまなメディアを通して幅広く情報発信します。現在は、参加企業 130 社、寄付者 5,000 名を超える方々に支持されており、これまでに 8 名の医師・研究者に総額 3,000 万円以上を支援しています。

(※)寄付金は、がん治療研究及び、啓発コンテンツ制作費など deleteC の活動に充てられます。

「誰もが参加できる」カジュアルソーシャルアクションを通して寄付・発信を行い、がん治療研究を応援



- ①販売・提供  
企業・団体やロゴや商品から「C」の文字を消したり、マゼンダ色に染めて、コラボした商品・サービスを企画・販売します。
- ②購入・利用  
deleteCプロジェクトの商品を購入したり、サービスの利用をします。また、毎日のdeleteC大作戦では、SNS投稿や拡散が寄付に繋がります。
- ③寄付  
毎年1月末に、商品やサービスの売り上げの一部が、がん治療研究への寄付と啓発費、研究費に対して寄付されます。
- ④発信(啓発)  
寄付先であるがん治療研究に関する興味コンテンツを制作し、世の中に発信することで、寄付への積極性を高めます。「啓発の輪」を広げていきます。

## 取り組みのきっかけ

日本では、毎年 100 万人前後が新たにがん罹患し、生涯 2 人に 1 人はがんにかかり、3 人に 1 人が命を落とすと言われています。早期診断・治療の時代が到来したものの、がんは相変わらず国民の死亡原因第 1 位です。

このようながんを治せる病気にするために、日本のみならず世界の研究者達が日々研究を続けています。

deleteC は、医師・研究者の方々と対話を重ねる中で、その一つひとつの研究こそが、現状を変え、数年後、10 年後の未来を変える「希望の種」だと気付きました。がん診療・がん治療研究に携わる医師から deleteC に「研究がなければ治療は始まらない」、「砂粒のような研究の積み重ねが大きな山を作る」、「今進めている研究が 3 年後、5 年後、未来のがんを治せる病気にする希望につながる」、「生きたいと願う患者さんの想いにこたえたい」など、多くの声が寄せられています。

治療研究の着実な積み重ねにより、不治の病と言われていたがんの治療成績は年々向上しています。手術や放射線治療技術の進歩に加えて、1990 年以降に分子標的薬が、2010 年代なかばには免疫チェックポイント阻害剤が登場し、近年では患者の遺伝子・細胞等を分析し、個々人に最適な治療法が選択できる「精密医療 (Precision Medicine)」が現実のものとつつあります。しかし、いまだ治療選択が極めて限られるがんも存在し、治せないがんも残っています。また、欧米で使える薬、治療法が国内では使えない場合があるといった課題や、日本のがん研究の予算が欧米に比べて少ないといった課題があります。

deleteC は、このような医師・研究者の想いや現状を受け止め、誰もがふだんの暮らしの中で、がん治療研究という「希望の種」を応援できる仕組みを作り、「がんを治せる病気にする日」を一日でも早く手繰り寄せるため、活動を進めています。

※「最新がん統計」国立研究開発法人国立がん研究センター [https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/stat/summary.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html)

### 【法人概要】

- 団体名 : 認定特定非営利活動法人 deleteC  
(2022 年 9 月 22 日交付・認定番号4生都管第 703 号)
- 設立 : 2019 年 9 月 5 日
- 代表 : 代表理事 小国土朗
- 事業内容 : (1)ロゴ等を活用したがん啓発事業  
(2)がん啓発イベント事業  
(3)がん医学研究に対する寄付・助成事業  
(4)がん医学研究に関する事業提供・啓発事業  
(5)その他その目的を達成するために必要な事業
- 支援の方法 : <https://www.delete-c.com/support>  
HP : <https://www.delete-c.com/>